

第2回

宇治学フォーラム

日時：2月27日(土) 14:00～16:40 (開場 13:30)

会場：京都文教大学 光暁館 1階第1会議室

定員：50名 (参加無料、事前申込み不要)

【内容】

■「宇治学」の概要説明

■「宇治学」の研究協力校・宇治市立三室戸小学校の取組紹介

■講演：加藤明氏 (関西福祉大学学長)

「総合的な学習の時間における地域学習の意義

ー学習指導要領の改訂を踏まえてー

京都文教大学地域協働研究教育センター地域志向協働研究共同研究プロジェクト「官学連携による『宇治学』副読本作成と現地での活用に関する研究」の研究活動を地域に還元し、また今後の研究活動のために「宇治学フォーラム」を開催いたします。

「宇治学」の研究協力校の宇治市立三室戸小学校から取組紹介、関西福祉大学学長加藤明氏より、地域学習の意義についてご講演をいただきます。

主催：京都文教大学地域協働研究教育センター地域志向協働研究

「官学連携による『宇治学』副読本作成と現地での活用に関する研究」

後援：宇治市、宇治市教育委員会

問合せ：京都文教大学フィールドリサーチオフィス

(TEL：0774-25-2630 / FAX：0774-25-2822 / E-mail：fro@po.kbu.ac.jp)

第2回 宇治学フォーラム

2016年2月27日(土) 14:00～16:40 京都文教大学 光暁館 1階第1会議室

京都文教大学地域協働研究教育センター地域志向協働研究

「官学連携による『宇治学』副読本作成と現場での活用に関する研究」の概要

宇治市の小・中学校では、総合的な学習の時間を「宇治学」と称して、地域の文化や伝統に対する関心や理解を深める取組がなされています。本共同研究プロジェクトでは、「宇治学」の更なる発展の為、宇治市教育委員会と本学が共同（協働）して、「宇治学」副読本の作成に向け、研究活動を推進しています。

「宇治学」の活性化によって、児童生徒が、地域社会の一員としての自覚を持って「ふるさと宇治」を愛し、よりよい宇治を築こうとする自主的、実践的な態度を育ていけるよう、取組の充実・進化を図っていきます。

<京都文教大学地域協働研究教育センター>

建学の理念「共生（ともいき）」の具現化をめざす本センターは、地域における本学の教育、研究、社会貢献を一体化し、地域・学生・教職員を巻き込んだ総合的な取組を推進することで、その成果を本学の教育活動や地域の発展に還元、寄与することを目的に、平成26年4月に開設されました。

本学の専門性を生かし、学生への実践教育の場の提供、地域人材や専門家・専門職との共同研究の推進、生涯学習機会やリカレント教育の充実など、これまでの教育や社会貢献に継続性を持たせ、あらたに地域を志向した活動を発展させることで地域貢献に寄与いたします。

タイムテーブル

- 13:30 開場
- 14:00 開会
 - ・「宇治学」の概要説明
 - ・趣旨説明
- 14:20 「宇治学」の研究協力校・宇治市立三室戸小学校の取組紹介
- 14:40 講演：加藤明氏（関西福祉大学学長）
「総合的な学習の時間における地域学習の意義—学習指導要領の改訂を踏まえて—」
- 16:10 質疑応答
- 16:40 閉会

講演者プロフィール

加藤 明氏（関西福祉大学学長）

兵庫県生まれ。大阪教育大学大学院修了。

大阪府豊中市立泉丘小学校教諭、大阪教育大学教育学部附属池田小学校教諭、ノートルダム清心女子大学助教授、京都ノートルダム女子大学心理学部長・教授、兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授、京都光華女子大学副学長を経て、平成26年4月より関西福祉大学副学長・発達教育学部長に就任。10月より学長に就任。

文部科学省中央教育審議会専門委員（教育課程企画特別部会及び小学校部会）、国立教育政策研究所「研究指定校に係る企画委員会」委員、京都市「学校運営協議会及び学校評価に関する検討委員会」委員、小中一貫教育全国サミット IN 姫路（平成26年10月開催）実行副委員長、奈良市小中一貫教育推進委員会委員、日本生活科・総合学習教育学会常任理事、東京書籍『新しい生活』編集代表、『新しい算数』編集委員などを歴任。



アクセス

会場：京都文教大学 光暁館 1階第1会議室
京都府宇治市槇島町千足 80 / TEL：0774-25-2630

■公共の交通機関をご利用ください

- 近鉄電車向島駅下車、スクールバス（無料）5分 または 徒歩15分
- ※スクールバス乗り場は、近鉄向島駅改札東出入口から北側にお進みください。
- ※スクールバスダイヤ 12:50 / 13:20 / 13:50 / 14:10 / 14:30

